

「災害時における連携の必要性とその仕組み、 これからの支援活動に必要な施策とは」

今年度、岩手県立大学ともりおか復興サポートオフィスは、「復興支援活動における行政と民間の協働の在り方」をテーマとして、共同研究を実施しております。本シンポジウムでは、復興支援活動団体に対するアンケートならびにヒアリングから得られた情報を踏まえ、有事における団体間の連携の在り方を模索するとともに、変わりゆくフェーズに焦点をあて、今後予想される局面に対し、どのような支援策が必要なのかを探り、今後の復興支援活動に資する提言を行うべく実施するものです。

と き 平成 25 年 2 月 26 日 火曜日 13:30～16:30

ところ プラザおでって おでってホール

定 員 100 名

締 切 2/22 (下記お問い合わせ先まで TEL・FAX・Mail にてお申し込みください)

～基調講演～

§講 師：田中 茂 氏
たなか しげる

講師プロフィール

NPO法人シミズシーズ理事長。阪神淡路大震災では、神戸の精神科医や臨床心理士を東へ、心のケアを行う「ハートネットワークセンター」を設立。01年、地元加古川で後に「シミズシーズ」となるNPO法人「シーズ加古川」設立し、中間支援組織としてボランティア活動や市民活動の基盤整備、ネットワーク構築に奔走する。東日本大震災では、「被災地を応援する加古川市民ネットワーク」を結成し、ボランティアセンターにスタッフを常駐派遣する等、様々な支援活動団体の支援を継続中。57歳。

§テーマ：「復興支援活動のフェーズの移り変わりが必要な支援策」

～阪神淡路大震災の経験から見る東日本大震災と復興のこれから～

～パネルディスカッション～

§テーマ

①支援活動団体が抱える現状の課題

②今後必要な支援策を探る

§コーディネーター

岩瀬 公二 (もりおか復興サポートオフィス 室長)
いわぶち こうじ

§コメンテーター

西出 順郎 (岩手県立大学 総合政策学部 准教授)
にしで じゅんろう

§パネリスト

田中 茂 氏 (NPO 法人 シミズシーズ 理事長)

丹波 史紀 氏 (一般社団法人 ふくしま連携復興センター 代表理事)
たんば ふみのり

多田 一彦 氏 (NPO 法人 遠野まごころネット 理事長)
ただ かずひこ

寺井 良夫 氏 (一般社団法人 SAVE IWATE 代表)
てらい よしお

お問い合わせ・お申し込み先

事務局：もりおか復興サポートオフィス 担当：川村

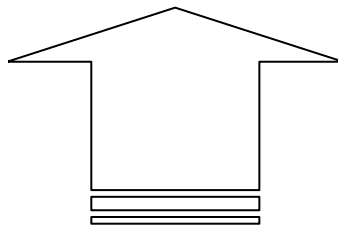
TEL & FAX: 019-623-7131 / Mail: info@morioka-fukko-suport-office.org

主催：公立大学法人 岩手県立大学 総合政策学部 西出研究室

一般社団法人 東日本絆コーディネーションセンター もりおか復興サポートオフィス

後援：盛岡市

FAX でのお申込



019-626-7131

団体名	
お名前	複数名でご参加の場合は代表者の方のお名前をご記入ください。他の方は、備考欄にお名前をご記入ください。
T E L	()
M a i l	@ もりおか復興サポートオフィスでは、毎週火曜日と金曜日に復興支援活動に役立つ各種情報を満載したメールマガジンを発行しています。恐れ入りますが、上記アドレス宛に 配信をご希望されない方は 、右のボックスにマークをお願いします。□
備 考	

～プライバシー・ポリシー～

本シンポジウムのお申し込みにあたりご記入いただいた各種個人情報は厳重に管理するとともに、許可を得た場合を除き、本シンポジウムの開催に関する以外の目的に使用しないことをお約束いたします。